|  |
| --- |
| **令和７年度版「新編 新しい科学」年間指導計画　第３学年** |

| 月 | 単元 | 章 | 時数 | 主な学習活動 | 他教科との関連 | 教科書のページ |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 4 | 単元１　化学変化とイオン(28) | 第１章　水溶液とイオン  (8) | 2 | 第１節　水溶液と電流  ・水に電流が流れるのはどのようなときか調べる。  ・実験１　電流が流れる水溶液 |  | 12-15 |
| 3 | 第２節　塩化銅水溶液の中で起こる変化  ・塩酸や塩化銅水溶液などの電解質の水溶液に電流が流れるとき、水溶液の中ではどのような変化が起こっているか調べる。  ・実験２　塩化銅水溶液の電気分解 |  | 16-21 |
| 3 | 第３節　イオンと原子のなり立ち  ・原子が電気を帯びるとき、どのような状態になっているか考える。 |  | 22-28 |
| 5 | 第２章　酸、アルカリとイオン  (9) | 3 | 第１節　酸性やアルカリ性の水溶液の性質  ・酸性やアルカリ性の水溶液には、それぞれどのような性質があるか調べる。  ・実験３　酸性やアルカリ性の水溶液の性質 |  | 30-33 |
| 3 | 第２節　酸性、アルカリ性の正体  ・酸性やアルカリ性の水溶液には、それぞれ何が共通して存在しているか調べる。  ・実験４　酸性、アルカリ性を示す物の正体 |  | 34-39 |
| 3 | 第３節　酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化  ・酸の水溶液にアルカリの水溶液を加えていくと、どのような変化が起こるか調べる。  ・実験５　酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化 |  | 40-46 |
| 第３章　化学変化と電池  (9＋予備1) | 2 | 第１節　電解質の水溶液の中の金属板と電流  ・どのような金属板と水溶液の組み合わせならば、電流をとり出すことができるか調べる。  ・実験６　電流をとり出すために必要な条件 |  | 48-51 |
| 3 | 第２節　金属のイオンへのなりやすさのちがい  ・金属によって陽イオンへのなりやすさに差はあるか調べる。  ・実験７　金属のイオンへのなりやすさの比較 |  | 52-55 |
| 2 | 第３節　ダニエル電池  ・ダニエル電池はどのようなしくみで電流をとり出しているか調べる。  ・実験８　ダニエル電池の作製 |  | 56-59 |
| 6 | 2 | 第４節　身のまわりの電池  ・身のまわりの電池は、どのような機器に、どのような目的で使われるか考える。 |  | 60-65 |
| 単元末（1） | 1 | 学習内容の整理・確かめ問題・活用問題 |  | 66-70 |
| 単元２　生命の連続性(26) | 第１章　生物の成長と生殖  (9＋予備1) | 4 | 第１節　生物の成長と細胞の変化  ・タマネギやヒトのような多細胞生物が成長するとき、細胞はどのように変化するか調べる。  ・観察１　体細胞分裂の観察 |  | 76-81 |
| 1 | 第２節　無性生殖  ・無性生殖は、どのような生殖か考える。 |  | 82-83 |
| 2 | 第３節　有性生殖  ・有性生殖は、無性生殖と比べてどのようなちがいがあるか考える。 |  | 84-87 |
| 2 | 第４節　染色体の受けつがれ方  ・親から子へ染色体が受けつがれていくときには、どのような決まりがあるか考える。 | 保健体育  ・生殖機能の発達 | 88-92 |
| 第２章　遺伝の規則性と遺伝子  (9) | 5 | 第１節　遺伝の規則性  ・有性生殖では、親の形質は、どのようにして子や孫に受けつがれるか考える。  ・実習１　遺伝子の組み合わせ | 数学  ・確率 | 94-101 |
| 7 |
| 4 | 第２節　遺伝子の本体と研究成果の活用  ・遺伝子の本体とその研究成果は、どのように利用されているか調べる。 | 技術・家庭　技術分野  ・生物育成の技術 | 102-106 |
| 9 | 第３章　生物の多様性と進化  (6) | 2 | 第１節　生物の歴史  ・108ページの図と脊椎動物の5つのグループの特徴を関連づけて比較すると、どのようなことがわかるか考える。 |  | 108-111 |
| 1 | 第２節　水中から陸上へ  ・陸上で生活する脊椎動物はどのように進化してきたか考える。 |  | 112-113 |
| 1 | 第３節　さまざまな進化の証拠  ・進化の証拠には、どのようなものがあるか考える。 |  | 114-115 |
| 2 | 第４節　進化と多様性  ・進化と地球上の生物の多様性には、どのような関係があるか考える。 |  | 116-119 |
| 単元末（1） | 1 | 学習内容の整理・確かめ問題・活用問題 |  | 120-124 |
| 単元３　運動とエネルギー(31) | 第１章　物体の運動  (9＋予備1) | 3 | 第１節　物体の運動の記録  ・水平面上で移動する物体の運動を記録タイマーで記録すると、何がわかるか調べる。  ・実験１　水平面上での台車の運動 | 算数→小5  ・速さ | 130-133 |
| 2 | 第２節　物体の運動の速さの変化  ・物体の運動の速さの変化をくわしく調べるには、どうすればよいか考える。 |  | 134-135 |
| 10 | 3 | 第３節　だんだん速くなる運動  ・物体がだんだん速くなる運動に、力はどのように関係しているか調べる。  ・実験２　斜面上での台車の運動 |  | 136-139 |
| 1 | 第４節　だんだんおそくなる運動  ・物体の運動の向きとは逆向きに一定の力がはたらき続けるとき、物体の速さはどのように変化するか考える。 |  | 140-142 |
| 第２章　力のはたらき方  (7＋予備1) | 3 | 第１節　力の合成と分解  ・物体にはたらく2力とそれらの重力にはどのような関係があるか調べる。  ・実験３　角度をもってはたらく2力 | 数学  ・平行四辺形の性質 | 144-149 |
| 1 | 第２節　慣性の法則  ・等速直線運動または静止している物体の運動の状態が変化するとき、物体の中や上にある物体は、どのような運動をするか考える。 |  | 150-151 |
| 1 | 第３節　作用・反作用の法則  ・ある物体が別の物体に力を加えたとき、2つの物体の間でどのように力をおよぼし合うか考える。 |  | 152-153 |
| 2 | 第４節　水中ではたらく力  ・浮力はどのような条件によって変わるか調べる。  ・実験４　浮力の大きさに関係する条件 |  | 154-160 |
| 第３章　エネルギーと仕事  (12) | 2 | 第１節　さまざまなエネルギー  ・エネルギーには、どのような種類があるか考える。 |  | 162-163 |
| 2 | 第２節　力学的エネルギー  ・物体がもつ運動エネルギーと位置エネルギーには、どのような関係があるか考える。 |  | 164-167 |
| 3 | 第３節　仕事と力学的エネルギー  ・仕事とエネルギーにはどのような関係があるか調べる。  ・実験５　仕事とエネルギーの関係 |  | 168-173 |
| 11 |
| 3 | 第４節　仕事の原理と仕事率  ・道具を使うと、仕事の大きさはどのようになるか調べる。  ・実験６　滑車を使うときの仕事 |  | 174-177 |
| 2 | 第５節　エネルギーの変換と保存  ・エネルギーの形態がさまざまに変わると、その総量はどうなるか考える。 | 技術・家庭　技術分野  ・エネルギー変換 | 178-181 |
| 単元末（1） | 1 | 学習内容の整理・確かめ問題・活用問題 |  | 182-186 |
| 単元４　地球と宇宙(26) | プロローグ  星空をながめよう  (2) | 2 | 第１節　太陽  ・太陽の表面は、どのようになっているか調べる。  ・観察１　太陽の黒点の観察 |  | 190-195 |
| 第１章　地球の運動と天体の動き  (9＋予備1) | 2 | 第１節　太陽の１日の動き  ・太陽は、１日を通じてどのように動いて見えるか調べる。また、その理由を考える。  ・観察２　太陽の１日の動き |  | 198-201 |
| 1 | 第２節　地球の自転と方位、時刻  ・地球上の方位と時刻は、どのように決められているか考える。 | 社会科（地理）  ・緯度・経度、方位 | 202-203 |
| 2 | 第３節　星の1日の動き  ・地球の自転と星の1日の動きは、どのような関係にあるか調べる。  ・観察３　星の1日の動き方 |  | 204-207 |
| 2 | 第４節　天体の1年の動き  ・真夜中に見られる星座は、1年を通してどのように移り変わるか調べる。  ・実習１　地球の公転と見える星座の関係 |  | 208-213 |
| 12 |
| 2 | 第５節　地軸の傾きと季節の変化  ・季節によるさまざまなちがいは、どのようにして生じるか考える。 |  | 214-218 |
| 第２章　月と金星の見え方  (6＋予備1) | 2 | 第１節　月の満ち欠け  ・月が満ち欠けをくり返すのはなぜか調べる。  ・実習２　月の満ち欠けについてのモデル実習 |  | 220-223 |
| 1 | 第２節　金星の見え方  ・金星が満ち欠けをしたり、大きさが変わったりするのはなぜか調べる。  ・実習３　金星の満ち欠けについてのモデル実習 |  | 224-227 |
| 3 | 第３節　日食と月食  ・月食や日食は、どのようにして起こるか考える。 |  | 228-230 |
| 1 | 第３章　宇宙の広がり  (5＋予備1) | 2 | 第１節　太陽系の天体  ・太陽系の天体にはどのようなものがあり、どのような特徴をもっているか調べる。 |  | 232-235 |
| 3 | 第２節　宇宙の広がり  ・私たちがいる太陽系は、宇宙の中のどのような位置にあるといえるか考える。 |  | 236-239 |
| 単元末（1） | 1 | 学習内容の整理・確かめ問題・活用問題 |  | 240-244 |
| 単元５　地球と私たちの未来のために(29) | 第１章　自然のなかの生物  (5＋予備1) | 2 | 第１節　生態系  ・生態系において、生物は何を食べて、何に食べられるという関係があるか考える。 |  | 250-253 |
| 2 | 第２節　生態系における生物のはたらき  ・生態系において、生物はどのようなはたらきをしているか考える。  ・実験１　微生物のはたらき |  | 254-259 |
| 2 | 1 | 第３節　生態系と炭素の循環  ・炭素は生態系のなかをどのように循環しているか考える。 |  | 260-262 |
| 第２章　自然環境の調査と保全  (8＋予備1) | 3 | 第１節　身近な自然環境の調査  ・身近な自然環境には生物がいて、環境とどのようにかかわっているか調査する。  ・調査１　身近な自然環境の調査 |  | 264-267 |
| 1 | 第２節　人間による活動と自然環境  ・人間は自然環境にどのような影響をあたえているか考える。 |  | 268-269 |
| 1 | 第３節　自然環境の開発と保全  ・自然環境を保全するためにどのような活動が行われているか調べる。 |  | 270-271 |
| 3 | 自然災害と地域のかかわりを学ぶ  ・自分たちの住む地域では、どのような災害が起こるおそれがあるか調べる。 | 社会科（地理）  ・自然災害  道徳  ・安全  保健体育  ・自然災害によ  る傷害の防止  ・共に生きる | 272-276 |
| 第３章　科学技術と人間  (7) | 2 | 第１節　さまざまな物質とその利用  ・使用してきた素材や製品のなかで、どのような物が変化し、また、なぜ変化したか調べる。  ・実験２　素材となる物質の性質 | 技術・家庭　家庭分野  ・衣服の手入れ  技術・家庭　技術分野  ・プラスチックの特徴 | 278-283 |
| 3 | 第２節　カーボンニュートラルの実現に向けたとり組み  ・カーボンニュートラルの実現のために、どのようなとり組みが求められているかさまざまな視点から考える。 | 技術・家庭　技術分野  ・さまざまな発電方法 | 284-289 |
| 3 | 2 | 第３節　科学技術の発展  ・科学技術を利用することは、私たちの未来をどのように変えることになるか考える。  ・実習１　科学技術の利用のあり方 | 技術・家庭　技術分野  ・情報に関する技術  社会科(公民)  ・情報化 | 290-294 |
| 終章　持続可能な社会のために  (5＋予備1) | 3 | 第１節　人類の活動と地球環境  ・地球環境はどのように変化し、どのような問題が生じているか調べる。  ・実習２　私たちのくらしと地球環境 |  | 296-299 |
| 2 | 第２節　持続可能な社会と科学技術  ・持続可能な社会に向けて、どのような行動をするか考える。  ・実習３　持続可能な社会に向けて、あなたはどのような行動をしますか | 技術・家庭　技術分野  ・SDGs  社会科（公民）  ・SDGs  技術・家庭　家庭分野  ・持続可能な消費生活を目指して | 300-303 |
| 単元末（1） | 1 | 学習内容の整理・確かめ問題・活用問題 |  | 304-306 |